

# Colobopsis truncata

(Spinola, 1808)

臆病な樹木にすむアリで、兵アリと女王アリ自身が、平らな栓のような形の頭で巣の入口をふさぎます。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

## ひと目でわかる情報



巣の温度  
**21–28 °C**  
巣の中



巣の湿度  
**40–60 %**  
巣の中



休眠  
**5–10 °C**  
11月–3月



結婚飛行  
**6月–8月**



働きアリ  
**3–5 mm**  
大型働きアリは最大6 mm



女王  
**6–8 mm**  
女王は1匹



コロニーの規模  
**働きアリ300匹規模**  
成長速度：普通



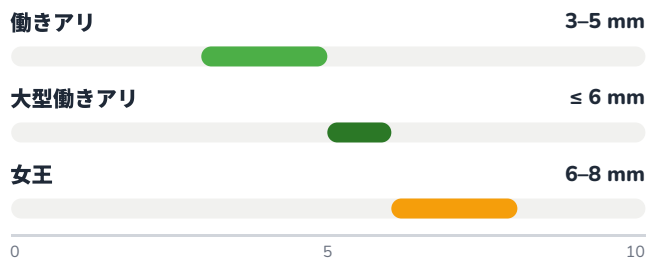
脱走リスク  
**中程度**  
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

## 1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

## 同じ縮尺での大きさ



## 飼育の早見表

### 食べ物

砂糖

昆虫

### おすすめの巣

- 木製の巣
- Ytongの巣
- 自然再現型のセットアップ

### この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です

## 飼育者からのメモ

### ヒント

木製の巣が、半分に割ったオークの虫こぶのセットを用意し、ドイツの飼育者が勧めるように、入口の穴はあらかじめ開けておきましょう。アリは1つの部屋を選び、あとから補助の部屋を加えていき、兵アリが入口に座って見張りをしていることもよくあります。

### 注意

創設中の女王アリは、ふつうの試験管ではたいてい失敗します。産卵して最初の働きアリを育てた女王アリには、守るための狭い入口が1つだけある、小さくて暗い部屋が与えられていました。くり抜いたドングリの帽子、中空の小枝、細いチューブの短い切れ端などです。飼育者は、素材よりも部屋の大きさのほうが重要だと考えています。